



2018.October



今号の内容	<b>教育・研究活動紹介</b> 教員をめざす長期履修学生 & 長期在学学生をサポートします! <small>長期履修学生支援センター所長より</small>	<b>国際交流</b> <b>山下学長の</b> <b>モザンビーク訪問</b> <hr/> <b>ボリビアでの</b> <b>活動リベンジ</b>	<b>もうすぐ鳴潮祭</b> 最高の笑顔よみき誇れ ~子どもの心で~ はしゃぎな祭~
	<b>附属で</b> <b>は</b> 幼児教育無償化に向けて 附属幼稚園ができること。 <b>大盛況! ★★★</b> <b>星の観察教室(附属中)</b>		<b>健康手帳</b> <b>麻疹(ましん)</b> について <b>ほか</b>

# 学園だより

GAKUENDAYORI

# 学園だより No.78

## CONTENTS

2018.10

五目チャーハン	理事 安部 栄一	1
ようこそ鳴門へ ～新任教職員の横顔～	鉄口真理子, 佐藤美智子, 中妻 佳代 川西 智也, 竹口 幸志, 廣田 知子, 瀧田 光男	2
教育・研究活動紹介	金 貞均 阪根 健二	4
教員をめざす長期履修学生・長期在学学生をサポートします！ 地域と大学をつなぐ		
熱戦！！ 第69回四国地区大学総合体育大会		6
競技日程・成績, 壮行会・競技の様様		
もうすぐ鳴潮祭		8
最高の笑顔よ咲き誇れ ～子どもの心ではしゃぎな祭～	第35回鳴潮祭(大学祭)実行委員会委員長 池田 大輝	
課外活動News		10
バドミントン部	主将 津田颯太郎	
女子バレーボール部	主将 尾田 菜摘	
書道部	代表 向江 有紗	
吹奏楽団“Cantabile”	代表 宮山 永	
こんにちは附属です		12
野外学習	附属小学校 主幹教諭 富田 知之	
大盛況！星の観察教室	附属中学校 教諭 福田 幸司	
自立活動 楽しんでます！	附属特別支援学校 教諭 古本 貢	
幼児教育無償化に向けて附属幼稚園ができること。	附属幼稚園 園長 佐々木 晃	
国際交流		14
山下一夫学長のモザンビーク訪問	自然系コース(理科) 武田 清	
ボリビアでの活動リベンジ！！	国際教育コース 堀場 萌枝	
日本での私のチャレンジと夢	教員研修留学生 EMELUE, Elizabeth Ugochi	
日本で, はじめての学外研修	言語系コース(国語) 賈 柱	
学生なんでも相談室		18
学生なんでも相談室室長 井上とも子, 副室長 小倉 正義, 相談員 西野麻衣子, 野口 亜希		
学生会・院生会だより		19
より良い学生生活を目指して	学生会長 居神 篤史	
大学院でより充実した時間を過ごせるように	院生会長 竹下早慧子	
健康手帳 「麻疹 <sup>ましん</sup> について」		20
特別支援教育専攻・心身健康センター 伊藤 弘道		
行事予定 / 編集後記		21

# 五目チャーハン

◆ 理事 <sup>あ</sup>安 <sup>べ</sup>部 <sup>えい</sup>栄 <sup>いち</sup>一

私は30年近く、文部科学省と国立大学で大学行政に関する仕事に携わってきました。これまでの経験の中でも一番印象深く、また語弊があるかもしれませんが楽しく仕事できたのは、平成13年4月から3年間初の管理職として勤務した大学共同利用機関「総合地球環境学研究所<sup>\*</sup>」時代です。研究所が京都大学の片隅に創設されたと同時にの着任であり、まずは所員の給与をどうやって支払うのかということから始めなければなりませんでした。後日、所長から本当に支払われるのか心配であった、と真顔で語られ何やら申し訳ない気持ちになったものでした。そしてその所長こそが日本の動物行動学の代表的研究者の故・日高敏隆先生でありました。先生の人となりは紙面の都合ご紹介できませんが、数多くの御著書がありますので一読をお勧めします。

着任と同時に、先生が我々所員に研究所の創設の意義についてご説明くださいました。それは「砂漠に緑を！」ということで植樹は成功したが、実際は地下水を利用してのものだったためそこに居住していた人間の水が無くなった、と言う笑えない話がある。このような人間と自然の共生という課題に向き合うためには、理系から文系まで幅広く研究者を集めて総合的にアプローチしていく、まさに、一つ一つの素材はそう高価なものではないが、混ぜ合わせることによって絶妙の味となる五目チャーハンのような研究をする場所が必要なのである。」ということでした。この五目チャーハ

ンは研究所を紹介する上で、当時は必ず引用されていました。

一方、教員養成大学はその性格上、多彩な専門分野の先生方を必要と

しています。また、本学大学院には、専門分野も様々な幅広い年齢層の学生がいます。このことは、研究所の五目チャーハンとは異なりますが、期せずして異分野交流が容易であり、かつ、大学のポテンシャルの高さを示すものと考えています。学部学生諸君には、今以上に先生方と大学院学生との積極的な交流を望みます。

<sup>\*</sup>現在は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構「総合地球環境学研究所」。



# ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～



専門は音楽科教育です。  
大阪の公立小学校、附属小学校での勤務経験を経て音楽教育実践学の研究に取り組んでいます。特に音楽と身体との関わりに興味をもっています。理論を勉強すると、今まで見えなかった子どもの発言や行動の意味がわかる

## ◆ 芸術系コース（音楽） 准教授 鉄口 真理子

ことがあります。理論だけではわからないことも、子どもの姿から理解できたり、新たな理論が見えてきたりします。このように音楽教育実践学の立場から音楽科授業の質の向上や教師教育に貢献していきたいと考えています。



今年度から大学院学校教育研究科言語系コース（英語）でお世話になっています。

26年間は小学校で教員として勤務し、11年間は学校を離れ教育委員会で勤めました。教育に関わる仕事であっても立場が変わることで、見える景色が違うことを実感し、その中から様々なことを学ばせていただき、新しい自分に出会えたよう

## ◆ 言語系コース（英語） 准教授 佐藤 美智子

な気がしています。

鳴門教育大学での勤務は、自分にとって、また、新たなスタートとなります。これまでの経験を生かしつつ、本学の学生や教職員、教育委員会や学校、地域の皆様との出会いを大切に、精一杯頑張りたいと思います。どうかよろしくお願いたします。



4月から、教職大学院教員養成特別コースでお世話になっております。

これまで、徳島県内の公立小学校で24年間、その後3年間は鳴門市教育委員会と鳴門市で勤めてきました。また9年前には、本学教職大学院生として学んでおり、今回、懐かしの大学で勤める

## ◆ 教員養成特別コース 准教授 中妻 佳代

機会をいただき、大変嬉しく思っています。

教員は、未来を担う子どもたちと関われる、やりがいのある素敵な職業だと感じます。教員を志す学生の皆さんが、人間的魅力をさらに高め、夢を実現していけるよう、精一杯支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

# ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～



本年度から臨床心理士養成コースに着任しました川西と申します。昨年度までは主に医療や福祉分野で心理臨床の実践を重ねてきました。専門は老年臨床心理学ですが、学校や児童養護施設、地域のサポート・グループなど、

## ◆ 臨床心理士養成コース 講師 川<sup>かわ</sup>西<sup>にし</sup>智<sup>とも</sup>也<sup>や</sup>

様々なコミュニティでの臨床にも関心があります。学生との話では、今まであまり知らなかった現場のことも話題に上ります。教えてもらうことも多く、指導・指導とあまり肩に力を入れず共に学んでいければと考えています。どうぞよろしく願いいたします。



2018年4月より現代教育課題総合コースに着任いたしました。地域連携センター、遠隔教育プログラム推進室、大学連携e-Learning教育支援センター四国鳴門教育大学分室等を兼任しております。私が働く部署では、ビデオカメラによって授業を撮影し、学習支援システムによ

## ◆ 現代教育課題総合コース 講師 竹<sup>たけ</sup>口<sup>ぐち</sup>幸<sup>こう</sup>志<sup>じ</sup>

て配信する遠隔教育事業を行っています。大学院では主に現代教育実践論、現代学校文化論を担当します。学部では情報社会と情報倫理、情報社会のくらし、学校教員の世界、子どもと学校を担当します。微力ながら、本学の教育・研究の充実と発展に努めさせていただく所存です。よろしくお願い申し上げます。



今年4月に言語系コース(国語)に着任いたしました廣田知子と申します。専門は日本語教育学および日本語教育法です。学習者のモチベーションを保つための楽しい授業方法に関心があります。

## ◆ 言語系コース(国語) 講師 廣<sup>ひろ</sup>田<sup>た</sup>知<sup>とも</sup>子<sup>こ</sup>

これまで、徳島県内の日本語教育機関以外にも、トルコ、中国、インドネシアで日本語教育に携わってきました。その海外での教育経験を活かしつつ、次世代を担う日本語教師の育成に尽力したいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

本年4月、経営企画部企画課長に着任しました濱田と申します。鳴門教育大学での勤務は4度目となります。

教員就職率全国第一位を初めて達成した平成22年度当時、本学で広報関係の仕事をさせていただいていました。その時には、徳島阿波おどり空港への全国第一位の広報看板設置、また、新聞、

## ◆ 経営企画部 企画課長 濱<sup>はま</sup>田<sup>だ</sup>光<sup>みつ</sup>男<sup>お</sup>

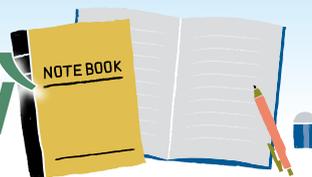
雑誌等への記事広告掲載など大々的に本学を広報・PRしたことが懐かしく思い出されます。

現在、教員就職率8年連続全国第一位という輝かしい実績は本当に素晴らしいことだと思います。

山下学長のリーダーシップの下、鳴門教育大学の更なる発展に少しでも貢献できるよう努力して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。



# 教育・研究活動紹介



## 教員をめざす長期履修学生・長期在學生をサポートします！

◆ 長期履修学生支援センター 所長 <sup>きむ</sup> 金 <sup>じょん ぎゅん</sup> 貞 均

長期履修学生支援センターは、3年間の長期履修（在学）制度を利用して入学してきた「学校教員養成プログラム受講生の長期履修学生（修士課程）」と「小学校教員養成長期プログラム受講生の長期在學生（専門職学位課程）」を全面的にサポートするところです。

長期履修学生・長期在學生（以下長期院生）はそれぞれ学部における学びも社会経験も違いますが、共通点の一つだけあります。それは「教員になる」という明確な目標をもって本学の大学院に進学してきたということです。

学びの経歴や社会経験が一人一人異なる仲間と一緒に学ぶことは大変幸運なことです。志を共にする仲間たちとの3年間の「関わり合い」を通して、違いを認め合う謙虚さと普遍的な人間愛、相手の目を見てコミュニケーションできる人間力を、そして、「学び合い」を通して教師力を高めていける最高の時間と場所が共有できるからです。

当センターでは高い志をもって集まってきた長期院生らが教員になるために必要な資質・能力を身につけられるよう、1年目に教職教養の基礎知識と教職実践について学ぶ優れた支援講座と演習プログラムを用意しています（毎週水曜第4時限）。まず前期の支援講座では、「教師としての心構え」、

「学校現場の現状」、「児童・生徒理解、人権教育」、「教育法規」などで基礎知識を学びます。後期の支援演習では「板書の基本」、「集団行動の指導法」、「授業づくりとICT」、「学習指導案の作成」、「模擬授業と研究協議」などを通して実践力をつけます。そして2年目の主免教育実習の事前指導、本番の各実習校における指導、事後指導にいたるまで、現場の経験が豊富なベテランのアドバイザーによる支援体制が組まれています（長期在學生は所属コースより実習関連指導を受ける）。アドバイザーの先生方は学校現場の問題や課題を知りつくし、教育実践力に長けており、長期院生ら各自に必要な指導と的確なアドバイスを与えています。

学校教員養成プログラム修了生の教員就職率が創設以来8割以上をキープしているということは、まず修了生たちの不断の努力によるものであり、各所属コースのご指導や本センターのアドバイザーの先生方によるきめ細かな修学支援の賜物であるといえます。

長期院生の皆さま、どうか3年間の学びを通して夢を現実に勝ち取って晴ればれと出ていけますよう祈ります。

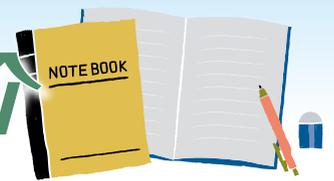
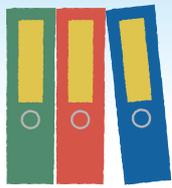
本センターは皆さまの夢の実現を応援します！



支援講座の様子



支援演習の様子



## 地域と大学をつなぐ

◆ さか ね けん じ  
阪 根 健 二

### 1. 地域連携センターとは

本センターは、生涯学習センター的な要素を持ちつつ、学校教育への支援を行う全国でも珍しい特徴を有しています。近年では、四国5大学連携防災・減災研究教育協議会の一員として、防災教育センターの役割ももち、徳島県教育委員会とは、家庭学習の調査研究や「サテライト研修室（つながルーム）」の運営などを行っており、多方面で活動しています。

### 2. 特色のある取り組み

#### (1) おもちゃ王国プロジェクト

岡山県の遊園地である「おもちゃ王国」と“知育玩具と遊び”をテーマに、産学共同研究を行っています。これは、学生・院生参加型のプロジェクトでもあり、“ブロック遊び”を通して、子どもの創造性やコミュニケーションを図ることや、知育玩具の開発を行っています。教育系大学は、民間からの外部資金の獲得は難しいと言われていますが、ここでは相当額の外部資金を獲得しているだけでなく、実際の遊園地での実地研修を行うなど、今教育界が求めている「社会に開かれた教育課程」の実践版として注目を集めています。

現在、台湾メーカーからのサプライパーツによる玩具開発を行っており、実際に販売までこぎつけました。また、香川県東かがわ市の土曜授業に参画し、小学校現場を活用して、子どもたちに遊びの大切さを教えています。こうした実績が、教員採用にも資する結果となっており、参加希望の学生・院生は、いつでも受け入れています。



写真 おもちゃ王国（遊園地）での本学運営パビリオン

#### (2) ICTを活用した実践の支援

ICTの活用に関する鳴門市との連携の窓口となっており、鳴門市の幼・小・中学校におけるICTの活用の支援や助言を行っています。特に、タブレットやプロジェクタ、電子黒板等が活用しやすい環境（ラーニングコモンズ）における学びのあり方についての指導・助言を行っています。また、プログラミング教育のあり方について、各種の研究・提言を行っています。

#### (3) 地域文化との連携

鳴門市と連携して、子ども向け美術鑑賞ワークショップ「N\*CAP」の企画・推進を行ったり、県内の小学校教諭や一般ボランティアとの協同により、「鳴門教育大学 教育と学校を考える会 子ども歩き遍路」を企画・実施したりしています。

# 熱戦!! 第69回四国地区大学総合体育大会

第69回四国インカレが、香川大学を主管大学として 香川県内各会場で開催されました。

本学からは、13競技に16団体・総勢193名（男子160名・女子33名）の選手が参加する予定でしたが、西日本豪雨により6競技が中止となりました。

しかしながら、開催された競技では熱い戦いが繰り広げられました。

競技種目	参加団体名	競技会場	日程
1 陸上競技	陸上競技部	屋島レクザムフィールド	6/30, 7/1
2 硬式野球	野球部	さぬき市志度総合運動公園野球場	荒天により中止
3 硬式庭球	男子硬式テニス部 女子硬式テニス部	香川県総合運動公園テニス場 高松市亀水運動センター庭球場	荒天により中止
4 バスケットボール	男子バスケットボール部	高松市牟礼総合体育館 ツインパルながお	6/23, 24
5 バレーボール	男子バレーボール部 女子バレーボール部	善通寺市民体育館	荒天により中止
6 サッカー	サッカー部	香川県総合運動公園サッカー・ラグビー場 香川県総合運動公園第2サッカー・ラグビー場 四国学院大学サッカー場	6/23, 24
7 ラグビー	ラグビーフットボール部	鉢伏ふれあい公園グラウンド 屋島レクザムフィールド	5/19, 6/16
8 バドミントン	バドミントン部	坂出市立体育館	荒天により中止
9 柔道	柔道部	香川県立武道館	荒天により中止
10 剣道	剣道部	丸亀市民体育館	6/24
11 ハンドボール	男子ハンドボール部 女子ハンドボール部	高松市香川総合体育館	6/30, 7/1
12 弓道	弓道部	三豊市詫間町弓道場	荒天により中止
13 フットサル	フットサル部	香川県立大川体育館	7/14, 15
13競技 / 16団体			

## 〈大会成績〉

総合 男子7位（前回9位） 女子11位（前回11位）

競技別（3位以上） ラグビーフットボール 第1位

個人【種目別】（3位以上）

谷口 誠崇 男子400mH 第1位

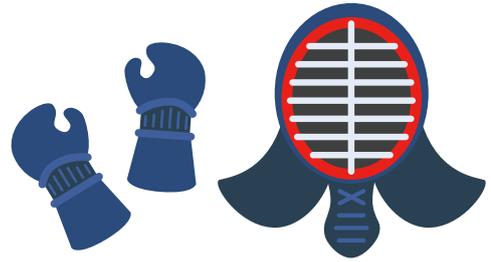
森友 裕太 男子走高跳 第1位

大西 海人, 谷口 誠崇, 松浦 良樹, 郡 太陽 男子4×400mR 第2位

川口 七海 女子走高跳 第2位



# 熱戦!! 第69回四国地区大学総合体育大会



# もうすぐ 鳴潮祭

## 最高の笑顔よ咲き誇れ ～子どもの心ではしゃぎな祭～

◆ 第35回鳴潮祭(大学祭) 実行委員会委員長 いけ だ だい き 池田大輝

みなさんこんにちは！！このたび、第35回鳴潮祭の実行委員長を務めさせていただくことになりました、国語科教育コースの池田大輝と申します。今年度の鳴潮祭は11月2日(金)～11月4日(日)に行われる予定です。今年度のメインテーマが決まりましたのでお知らせいたします。



に決まりました。

今回は第35回ということで、テーマの中に35をイメージして作成しました。今回の鳴潮祭のテーマでは、鳴教生、近隣の地域住民の皆様など、鳴教祭参加者全員が主役である、という思いを込めるとともに、みなさんが子どもの頃の気持ちをもって全力で楽しみ、鳴潮祭参加者全員の笑顔が溢れ咲き乱れるようにという願いを込めています。実行委員一同、学生のみならず、近隣住民の方々や学校職員の方々、学祭を開催するにあたって協力してくださった方が楽しめる企画を考えております。さて、今年の鳴潮祭に対して皆さんはどのような事を期待し、何を思っているのでしょうか？1年生にとっては初めての鳴潮祭であり、期待と不安の両方の思いを持っていることでしょう。しかし、鳴潮祭では「1年生が主役である」という風潮があります。1年生には、ステージや模擬店などで大いに活躍してもらい、みんなに笑顔

届けてほしいと思います。また2年生は昨年鳴潮祭を経験していることから、昨年以上の鳴潮祭にしたいという思いがあると思います。よりよい鳴潮祭にするために、初めてで不安がつもの1年生を昨年の経験を活かして、しっかりと引っ張ってほしいと思います。また大学院生の方々、大学職員の方々、地域の方々に参加していただけるような鳴潮祭にしましょう。

それぞれの思いを裏切らないよう、私たち実行委員12名は過去の実行委員の方々からアドバイスをもらい、企画や準備などを進め頑張っています。

では、ここで今年度の鳴潮祭実行委員会委員を紹介したいと思います。

# もうすぐ 鳴潮祭

## 第35回鳴潮祭実行委員会委員



三役として全体をまとめる上段左の写真より、左から、岩本唯華、池田大輝、森本拓海。

企画として企画の作成やライブの運営を手がける上段右の写真より左から、中川羽菜恵、鎌谷虎太郎、生田時希。

広報としてスポンサー集めやパンフレットの作成に励んでいる下段左より、左から、喜瀬玲奈、中川菜摘、谷川絢香、竹内詩織。

模擬店として衛生面の管理などをする下段右の写真より、左から、板東篤志、日並慧太。

この12人で最高の学祭をする事を目指しています。これからいろんな困難があると思いますが、この12人なら乗り切れると思います。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

最後となりましたが、鳴門教育大学同窓会、後援会の皆様、スポンサーを引き受けてくださった皆様、学生科の方々などの多くの支援により私たちは活動でき、鳴潮祭を行うことができます。誠にありがとうございます。

# 課外活動 News

## バドミントン部

私たちバドミントン部は火、金、日の週3日（18:30～21:30）体育館で活動しています。学部生主体の部活とさせていただいていますが院生さんにも多く参加していただいています。現在、現役生としては学部生が2人、院生が5人所属しています。非常に少ない人数ではありますが、引退された方にもサポートしていただき楽しく活動しています。年二回に徳島大学、四国大学、徳島文理大学、鳴門教育大学の四大学の参加で行う四大学定期戦、四国インカレに向けて日々の練習を頑張っています。また、鳴門市や徳島県で行われる大会にも参加させていただいています。

今の部員のほとんどが大学からバドミントンを始めました。なので初心者でも気兼ねなく参加し

### ◆ バドミントン部 主将 津田 颯太郎

ていただけると思います。先にも述べましたが非常に学部生の人数が少なく、特に学部1年生の新入部員を絶賛募集中ですので興味を持っていただけた方は是非一度体育館へ来てみてください！もちろん、他学年の方、院生の方も経験の有無を問わずお待ちしております！



## 女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、毎週火・水・土曜日に体育館で3時間程度練習を行っています。今年は、なんと8人の新しい仲間が増えて部員数が12人になりました。先輩・後輩もとても仲が良く、笑顔と活気に溢れた楽しい部活です。女子バレーボール部では、全国大会出場経験者もいれば、大学からの初心者、他の競技をしながらバレーをする子もいるので、経験者はもちろん、バレーに少しでも興味のある方は大歓迎です！！

活動内容としては、年に4回程度の大会に向けて、日々練習に取り組んでいます。大会は四国内で行われるので、遠征費用もそれほどかからないのでお財布に優しいです。

女子バレーボール部は、勉強やバイト、プライ

### ◆ 女子バレーボール部 主将 尾田 菜摘

ベートとの両立をしやすい部活動です！将来教師になったとき、地域の行事や、球技大会でバレーをすることもあると思うので、バレーをすることはきっと役に立つはずですよ！！ぜひ体育館に足を運んでみてください！部員一同お待ちしております！



〈学校教育学部 小学校専修体育科コース 3年〉

# 課外活動 News

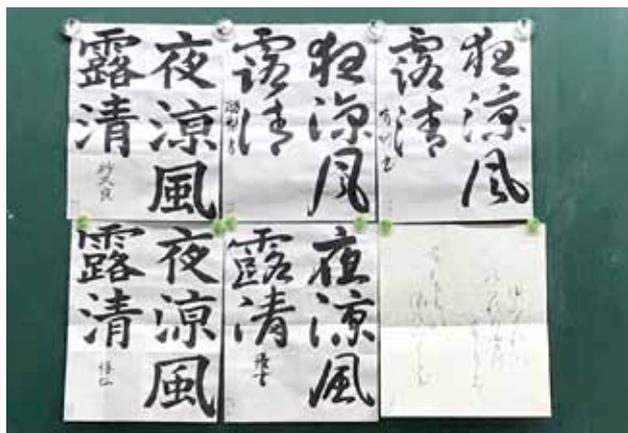
## 書道部

私たち書道部は、毎週水曜日の放課後D202教室にて活動しています。今年は院生からの新入部員も入り、小規模ながらも活気づいてきました。主な活動は、高野山競書大会、夏の徳島県競書大会、冬の書初め書道展覧会などの大会への出品・入賞を目指し、字の練習に取り組んでいます。どの作品を出すかの選別は黒板に貼って部員同士で行うため、字のバランスを見る練習にもなります。それ以外にも、書いてみたいと思った作品を探して自由に書いたり、字の練習に取り組んだり、各々がやってみたいことに挑戦しています。また、他の課外活動の看板の字など、字の依頼も受けているため、ぜひご相談ください。

「字が下手だしな……」「興味はあるけど難しそう」と思っている人もいると思いますが、上手下

◆ 書道部 代表 <sup>むかえ</sup>向江 <sup>ありさ</sup>有紗

手関係なく書道に触れる良いきっかけになるはずです。もちろん国語系コース以外の人でも大歓迎です。一緒に筆で字を書く楽しさを知っていきましょう！



## 吹奏楽団 “Cantabile”

私たち鳴門教育大学吹奏楽団“Cantabile”は、毎週火曜日・水曜日にクラブハウスにて練習を行っています。現在、団員数は40名となり数年前とは比べものにならないくらい大所帯となりました。

“Cantabile”の活動内容としましては、鳴門教育大学の講堂にて毎年開催している定期演奏会、学外からの依頼演奏や学内の行事で演奏したりなど様々です。定期演奏会につきましては、今年で3年連続の開催となり、またお客さんの数も有難いことに回を重ねるたびに増えています。これからは定期演奏会は毎年開催いたしますので、皆様ぜひお越しください。そして、学外や学内からの

◆ 吹奏楽団 代表 <sup>みや</sup>宮 <sup>やま</sup>山 <sup>はるか</sup>永

依頼演奏では、依頼主の意向に沿った演奏会とするため選曲を慎重に行い、聴いてくださる方々に喜んでいただけるような演奏会ができるよう努めています。

上記の活動以外にも、全日本吹奏楽連盟と朝日新聞社により開催されるアンサンブルコンテストに積極的に参加しています。第40回アンサンブルコンテストでは、県大会・四国大会を勝ち抜き、全国大会に出場することができました。

これからも、定期演奏会の開催を続けるとともに、様々な行事に積極的に参加し、活動の幅を広げていきたいと思っています。



## 小学校 野外学習

附属小学校では、集団宿泊活動行事として、4～6年生は、牟岐少年自然の家で宿泊活動、1～3年生は、月見が丘海浜公園で野外学習を行っています。

7月13日に1年生が小学校生活で初めて、野外学習を行いました。午前中は、公園の遊具などで友達と楽しく遊びました。お弁当を食べて、午後からは、海で水遊びや砂遊びをしました。毎年、保護者の方には、ロープを持って、海に入っているだけパイをつかって、子どもたちが安全に活動できるようにご協力をいただいています。初めは



### ◆ 附属小学校 主幹教諭 富田知之

おそろおそろ波打ち際に近づいていた子どもたちも、次第に慣れてきて、大きな波が来るたびに、歓声をあげていました。少し日焼けもしましたが、心に残る思い出となったようです。



## 中学校 大盛況！星の観察教室

15年ぶりの火星の大接近をみんなで観よう！ということで、附属中学校では8月1日（水）に本学の細川威典先生を講師にお迎えして、「星の観察教室」を開催しました。今年は火星の大接近等が新聞記事になったこともあり、注目度も例年以上でした。当日は雲ひとつない絶好の星空観察日和となりました。本校生徒・保護者をはじめ、地域の幼稚園児や小学生を含む101人の参加がありました。

運動場に設置したスクリーンとプロジェクターを使って細川先生から惑星や星座についての説明を聞いた後、全員を4班に分けて同じく運動場に設置した屈折望遠鏡（2台）で土星と火星を、反射望遠鏡で木星を、大型双眼鏡で金星を観察しました。そして最後に、全員が天体ドームに上がってもう一度土星を観察しました。

参加者からは「火星は本当に赤く光っていて、第二の太陽のようにきれいだった。」「土星の輪に感動した。」「木星のしま模様や衛星まできれいに見えた。」「星座シートを買って、家族で夜空を見上げたい。」「夏の星座のこと

### ◆ 附属中学校 教諭 福田幸司

もよく分かった。」という感想があり、たいへん好評でした。また小学生からも「近所の附属中のお姉さんが誘ってくれた。知らない星座がたくさんあった。」「学校で星のことを習って、本物の星を生で見たくなった。」「いろいろなことを知ることができて、とても楽しかった。」という感想が寄せられ、参加してくださった皆様には、満足して帰っていただけたと感じています。

今後もこのようなイベントを通して本校の教育内容をどんどん発信していき、地域の方々にも知っていただきたいと思います。



天体ドームと木星。



100名近くが集まりました。

## 特別支援学校

## 自立活動 楽しんでます！

「ゆるゆる、ぼんっ」、「ばばぬきをしましょう」、「ワニをしてください」、「お皿に〇〇を2個入れて下さい」等いろいろな声が一斉に聞こえてきます。中学部の自立活動Bグループでは、1つの教室を4つのユニット（身体・動作学習・コミュニケーション・対面学習）に分け、10分ごとに3つのユニットを回って学習しています。ユニットとは、指導目標や指導内容のまとまりのことで、それぞれのユニットでは、生徒と教員間の学習機会を多く設定しています。同時進行で4つの学習活動が行われていてとても賑やかです。

生徒たちは、自分が取り組んでいるユニットで教員とともに、あるいは生徒同士で中心的課題の解決に向けて集中して楽しく学習しています。自立活動Aグループでは、3つの教室を利用して、3つのユニット（身体・コミュニケーション・言語）に分け、10分ごとに3つのユニットを回って学習しています。A・Bグループともはじめとわりは集団活動に取り組んでいます。

### ◆ 附属特別支援学校 教諭 古<sup>ふる</sup>本<sup>もと</sup>貢<sup>みつぐ</sup>

中学部では、自立活動を毎日1時間目に設定しています。これは、家庭から学校への切り替えと生徒一人ひとりの状況把握（日々のアセスメント）から始まり、教科学習や作業学習への構えの形成につながります。また、自立活動の学習で培った力は、2校時以降の教科学習や各教科等を合わせた指導、日常生活の中でも発揮しています。



自立活動A (身体)

自立活動B (各ユニット)



## 幼稚園

## 幼児教育無償化に向けて附属幼稚園ができること。

### ◆ 附属幼稚園 園長 佐々木<sup>ささき</sup>晃<sup>あきら</sup>

消費税率が引き上げられる来年秋に「幼児教育の無償化」がおこなわれるというニュースをお聞きになった方も多いと思います。これによって待機児童問題解消のための「保育の量的拡充」政策にあわせて、「保育の質」についての議論もなされるようになってきました。「人生の始まりこそ力強く」と謳う『OECD保育白書』においては、乳幼児政策に影響を与える社会的要因、経済的要因、概念的要因、そして研究の要因について、国際比較をもとに論じています。そこでは、質の高い保育が、その後の子どもの成長やその国に将来に影響を与えるものとして捉えています。このように、どのような幼児教育を進めていくのかは、国の未来にとっても重要な事柄です。

「保育の質」を捉える3つの側面について紹介すると、①プロセスの質（保育実践そのもの。子どもと保育者の相互作用。環境の構成 等）、②条件の質（クラスの子どもの人数、大人と子どもの比率、保育者の経験年数・

学歴・研修 等）、③労働環境の質（給与、仕事への満足度、運営への参加、ストレス 等）などがあります。附属幼稚園はこのような保育の質に関する研究や研修の方略について、現場の先生たちに分かりやすく、かつ、実践化しやすく提案しています。今年度の研究発表会は幼年発達支援コースをはじめとした関係コースの先生方の強力なご支援・協力をいただき8月26日（日）に本学の高島キャンパスで行い、活発な議論をしました。





## 山下一夫学長のモザンビーク訪問

◆ 自然系コース（理科） たけ 武 だ 田 きよし 清

7月5～9日の日程で、学長の山下一夫先生、教員教育国際協力センター所長の小澤大成先生とともに、モザンビーク共和国を訪問しました。南アフリカ共和国の北東に位置し、インド洋に面するモザンビークは、大航海時代以降ポルトガルの植民地となり、1975年に独立を果たした国です。アフリカというと、原野が広がり、野生の動物が闊歩しているのをイメージするかも知れませんが、我々が滞在した首都のマプトは、植民地時代にポルトガルのリスボンを模して開発されたとされる町で、近代的な高層ビルも建っています。

本学では現在、モザンビーク教員養成校の新カリキュラム普及活動に協力しており、理数科の教科書作成の支援をしています。我々は現地でプロジェクトを進めているJICA事務所で、教育省計画開発局ソブラノ局長と面会し、本学のプロジェクトへの協力について意見交換しました。

翌日にはモザンビーク教育大学を訪問し、両大学の協力関係について確認しました。モザンビーク教育大学は国内6カ所にキャンパスを持ち、学生総数は3万人を超える大きな大学です。主に高等学校教員の育成を行っています。本学とモザンビーク教育大学は、平成29年3月より交流協定

を結んでいて、交換留学プログラムが用意されています。今回はさらに関係を強化するべく、同大学学長のフェラオ先生と山下学長の会談がもたれました。その後、大学内を見学しました。主に理数科教育に関連して、モザンビーク教育大学で開発された教材や教具の展示を見せていただきました。現地で見られる昆虫標本をはじめとして、人体の模型、太陽光発電システムのモデルなど、大学の授業で利用する教具の開発に努めておられるようです。とくに、実生活に深く関わった理科教材などが多く展示されているのが印象的でした。学長の訪問は、現地のテレビでも取り上げられました。

余暇を利用して、ホテル近くの自然史博物館を訪れました。動物や水生生物などの標本や模型が、アフリカの原野や川の中に似せた形で展示されています。また、たまたまその一角では、戦国時代の日本に来て、織田信長に仕えたとされるモザンビーク人弥助に関する展示もありました。

モザンビークは南アフリカ地域にこそ位置していますが、国際協力などを通じて案外日本と関わりのある国です。皆さんもモザンビークに行ってみませんか？



図1 山下学長、フェラオ学長を中心として。



図2 水力発電プラントの模型について説明を受けている様子。



## ボリビアでの活動リベンジ！！

◆ 国際教育コース ほり ぼ も え  
堀 場 萌 枝

私は入学前、ボリビアで青年海外協力隊の小学校教育隊員として、地元の公立小学校で算数教育改善の活動をしていました。現場で活動していると、私の中に、その国にはその国の歴史や生活スタイル等の背景があるように、教育にもその国に合う教育があるのではないかと考えるようになりました。しかし、当時の私は日本以外の教育を知らず、その答えが見つかりませんでした。現在の指導教員である石坂先生にお会いする機会を得たこと、そして、私が抱える疑問を解決するためにもっと多角的に教育を知りたいと思い、本大学への入学を決めました。

私は現在、本学が請け負っているJICA草の根技術協力事業「ボリビア多民族国の初等教育における総合的な学習および算数教育の向上計画（草の根協力支援型）」の業務従事者として参加させていただいています。主な業務は、ボリビアのカリキュラムにも記載してある、数学的論理的思考を取り入れた図形学習の繰り返し学習教材（以下、ドリル）の作成です。ボリビアのカリキュラムに沿い、学校現場で使用可能なドリルを目指し、作成しました。作成したドリルをただ渡すだけでなく、現地の教員に活動を通して知識を体得してもらい、授業で活かされるような研修も行いました。

現地の教員も図形を暗記型学習で教えられたた

め、断片的な図形の知識しか知りませんでした。今回の研修で断片的な図形の知識につながりをもたせることができ、以前は消極的だった図形学習の授業も、研修後は、意欲的に図形学習の授業を行えるようになった教員が多く見られました。ボリビアのカリキュラムに沿ったドリル内容、彼らの授業スタイル、生活スタイルを取り入れたり、彼らの意見も聞き入れたりしながら研修を行ったので、彼らも自分たちの授業をイメージしやすかったのだと思います。また、私が作成したドリルは、そのまま授業の練習問題や宿題に使用する教員もいれば、ドリルをもとに、アレンジを加えた教員もいらっしゃいました。教員に使用してもらえるドリルが作成できたことへの喜びを感じるとともに、ボリビアの学校教育により合うドリルにできるのではないかと、というドリル改善への追求心が高まりました。

今回のプロジェクトを通して、ボリビアのカリキュラムと現場の教育を考慮したドリル作成ができたことで、現地の教員にも喜んでもらえ、実際に使用してもらえたのではないかと思います。そして、今回の再チャレンジできる機会をいただいたお陰で、協力隊のときに思った、「その国に合った教育」が少しでも実現できていたら嬉しく思います。





## 日本での私のチャレンジと夢

◆ 教員研修留学生

エメルエ エリザベス ウゴチ

EMELUE, Elizabeth Ugochi (ナイジェリア)

皆様こんにちは。私は エメルエ エリザベス ウゴチ と申します。アフリカのナイジェリアから参りました。私は鳴門教育大学の教員研修留学生です。去年の10月から今年3月まで、徳島大学の日本語研修コースで勉強し、その後、鳴門教育大学で研究をしています。私の趣味は、読書、料理、そして、野球をしたり、映画を見たりすることです。

私の国ナイジェリアは、アフリカ西部にある、とても大きな国です。ナイジェリアの人口は2億人ぐらいで、最も人口の多い国です。ナイジェリアの公用語は英語です。それは、以前、英国の植民地だったからです。でも、実は200語ぐらいの言語があって、そのうちの3つが主要言語とされています。その3つは、ハウサ語とイボ語とヨルバ語と言います。私はイボという部族の出身で、ありがたいことに、この3つの主要言語を話すことができます。

皆さんはナイジェリアというと、どんなイメージをお持ちですか？ナイジェリアは野生生物と天然資源が豊富です。ワニ、ゴリラ、ゾウなどの野生生物がいます。また、ナイジェリアで最大の輸出品は原油ですが、その他に、天然ガス、鉄鉱石などがとれます。

首都のアブジャは、国の真ん中にあります。1991年に旧首都ラゴスから遷都された、アフリカでは唯一の計画都市で、ナイジェリアで最も安全で美しい都市です。そして、なんと、このアブジャ市街を設計したのは日本人です。この人です。皆さんご存じの丹下健三です。ここに私の家族が住んでいます。私の夫は、エンジニアです。今年娘は5歳に、息子は3歳になりました。今は母が彼らを世話してくれています。

日本に来る前に、約7年高校で生物学を教えました。その後、試験に合格して、日本で勉強する奨学金を得ました。去年10月に徳島大学へ来たとき、日本語がほとんど分からなかったので、毎日10時間日本語を一生懸命勉強しながら、先生方からより効果的な教授法を学びました。

そんなある日のことです。珍しく徳島では、雪がたくさん降りました。私達はいつものように、福岡先生の朝の講義を楽しみにクラスに行きまし

た。でも、その日は、みすみ先生が教室に来られて、陽気な声で「おはようございます」と挨拶しました。そして、私たちに、その日の朝のレッスンは彼女が教えることになり、午後のクラスを福岡先生が教えることになったと伝えてくれました。私たちはその理由を後で知りました。雪のため車が動かなくなり、福岡先生は途中で立ち往生してしまったのです。しかし、その日、何もなかったかのように、両方のクラスは非常にスムーズかつ温かい雰囲気でおこなわれました。私はそのとき、先生方は本当にプロフェッショナルだと感じました。

鳴門教育大学の先生方も、私に多くのインスピレーションを与えてくれています。教師として、絶えず良くなるように挑戦されているように思います。私は日本で勉強できる機会を得たことにとっても感謝しています。

来年3月、私は日本でのプログラムを終え、母国に戻ります。私は日本語が好きなので、帰国後は、日本語を学ぶことのできる学校で教えることが夢です。最後に、スピーチを聞いてくださった皆さまに心から感謝いたします。どうもありがとうございました。

8年度 外国人による  
本語并論大





## 日本で、はじめての学外研修

### ◆ 言語系コース（国語）<sup>か</sup> 賈<sup>ちゅう</sup> 柱（中国）

平成30年6月2日（土）に、学外研修で香川県小豆郡小豆島町に行きました。

まず、今回の研修の中で最も楽しかったところは、讃岐手打ちうどん作りを体験したことです。讃岐手打ちうどん作りでは、工程が約10段階あります。今回の体験では、時間を節約するために、1から5までの工程を先にスタッフさんたちがしてくれており、私たち参加者は6工程目から体験しました。みんな実際に手作りの過程を体験できて本当によかったと思います。グループに分かれ、グループのメンバーたちは協力していろいろ頑張りました。手作り体験が終わった後、みんなでうどんをゆで、昼ご飯を作りました。その中で、お互いに知らない人は仲良くなったり、笑顔でいろいろ話をしたりして本当に楽しかったです。みんなで作ったうどんは努力の成果の味でした。体験の中で讃岐うどんの文化について、みんな少し知ることができました。一番印象深かったのは、体験をする前は、讃岐うどんが嫌いだと言っていたJPさんでしたが、体験が終わった後、好きになったということです。みんな楽しそうに有意義に過ごせ、また讃岐うどんの文化を勉強でき、一番よかったと思います。

次に、鳴門教育大学に来た後、初めて作った外国人の友達はインドネシアから来たアグンさんです。今回の研修をきっかけにして、二人の友情がもっと深くなりました。研修、旅行、知識以外に、友情を収穫しました。

最後に、研修の中で日本の

文化・社会・工芸等を体験したり、他の国から来た留学生たちといろいろな話をしたりしました。一番気になったのは、実際に、二十四の瞳映画村で『二十四の瞳』という映画を少し見たことです。まるで自分の夢を実現したみたいな感じでした。大学生の時、文学の授業で壺井栄の『二十四の瞳』という小説を勉強したことがありました。その時から、『二十四の瞳』という映画を見たかったのですが、なかなか中国では見ることはできませんでしたので、残念に感じておりました。研修が終わって帰った後、もう一度パソコンを利用して見ました。

今回の学外研修で、日本の特有な文化を勉強したり、友情を収穫することができ、本当に素晴らしかったです。初めての学外研修ですが、いろいろ勉強になり、また、いろいろなことに感動しました。私自身にとって、今回の学外研修はとても有意義でした。

もし、今度チャンスがあれば、日本の特有な農業と漁業を体験してみたいと思います。実際に農業についての作業をやるとか、実際に漁業についての作業をやるとか、それをチャンスにして本の中でできないものを体験してみたいと思いました。





## みんなで支え合いましょう！

学生なんでも相談室は3年目を迎えました。

今年度から、副室長として臨床心理士養成コースの小倉正義先生をお迎えしました。先生は、青年期・成人期の発達障害者の支援等々、県内・外でご活躍中です。今後、当相談室でもお力を発揮いただけるものと期待しております。加えて、4月から養護教諭の経験のある野口さんに新たに相談員として来ていただきました。優しい雰囲気、穏やかに親身に学生からの話を聞いてくださっている様子を見るにつけ、西野さんと二人三脚で、当相談室を盛り立ててくださるものと、喜んでおります。

これからの当相談室は、障害学生支援も積極的に進めていきたいと考えており、サポーターを募集しています。勉強やアルバイト等々忙しい毎日とは思いますが、学生同士支え合って安心して安全な大学生活の維持を学生自ら進めてもらえるよう、まず手始めにサポーター登録をお願いします。

(学生なんでも相談室室長 井上 とも子)

これまでも相談員としては関わってきておりましたが、今年度からなんでも相談室の副室長をさせていただくことになりました臨床心理士養成コースの小倉正義です。副室長という肩書きは慣れませんが、臨床心理士養成コースのみなさんはもちろん、他のコースや学部生のみなさんとも授業などを通して多くの方々と関わらせてもらってきています。そのなかで、これまでもいろいろな「つながり」の大切さを感じてきました。なんでも相談室は、鳴門教育大学の中の「つながり」を支えるうえでの一つの大切な役割を担っていると思っております。そして、その「つながり」を少しでも広げていくことが、一人一人が大学の中で過ごしやすくなるために大切なことなのかなと思っています。みなさんも、そんな「つながり」の中に入り、支え合い

の活動に参加していただければ幸いです。

私も自分にできることを常に考えていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

(学生なんでも相談室副室長 小倉 正義)

2016年4月から開室された学生なんでも相談室も3年目を迎えます。

学生なんでも相談室は、みなさんにどのように知られているのでしょうか。どのようなイメージをもたれているのでしょうか。

学生相談はなんでも相談です。

何かを相談したいと思ったとき、どこに、誰のところへ行ったらよいかはいつもはっきりしているとはかぎりません。そのようなときは適切な相談相手はどこにいるか一緒に考え、問題を解決できるように手助けをする。なんでも相談ということの意味がそれです。素朴な質問、ちょっとしたことでの迷いや、戸惑いから、誰にも話せず長く悩んでいることに至るまで、どんなことでも話せるところです。「整理して考えることが難しく、ごちゃごちゃと混乱している」「どう話したらいいかわからない」「こんなことは相談にならないのでは」などと心配せずそのまま学生なんでも相談室を訪ねてください。

(学生相談員 西野 麻衣子、野口 亜希)

**学生なんでも相談室**

**受付時間** 月～金 9:00～17:00

**受付方法** (予約優先)

- ◆窓口 学生なんでも相談室 (総合学生支援棟1階)
- ◆電話 088-687-6218
- ◆E-mail [nandemo@naruto-u.ac.jp](mailto:nandemo@naruto-u.ac.jp)

## より良い学生生活を目指して

◆ 学生会長 <sup>い</sup>居 <sup>かみ</sup>神 <sup>あつ</sup>篤 <sup>し</sup>史

こんにちは。学生会会長の居神篤史です。今年度も学生会執行部一同は学生生活の向上を目指して活動しています。

四月には晴れやかな空のもと、体育館で行う部活動紹介では2度目となる渦フェスを行わせていただきました。この活動は新入生を対象とした鳴教の部活動・サークル紹介であり、毎年形は変わりますが行っているものです。新入生と在学生在が直接話すことが出来る場として学生会が用意し好評をいただいております。昨年の講堂での部活動紹介の反省を活かし開催しました。各課外活動団体の方々の協力でスムーズに運営することができ、準備、片付け等でお世話になりましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

また、今年度は昨年度の活動を引き継ぎ様々な

活動を行っていく予定ですが、先日のかき氷では例年2日間行われるものを、毎年もっと日を増やしてほしいとの要望が多いことから今年度は4日間に増やして行いました。残念ながらそのうち2日は天候が悪く中止となりましたが、毎年行う活動でも常に改良・改善を行い、皆さんの学生生活をより良いものにすることができるよう学生会執行部一同努力していくつもりですのでよろしくお願い致します。



## 大学院でより充実した時間を過ごせるように

◆ 院生会長 <sup>たけ</sup>竹 <sup>した</sup>下 <sup>さえ</sup>早 <sup>こ</sup>慧子

みなさん、こんにちは。院生会会長を務めております、教員養成特別コース1年の竹下早慧子です。院生会理事をはじめ、多くの方々に助けていただいたおかげで、前期の仕事を全うすることができました。大変お世話になりました。

前期は、6月3日(日)にソフトボール大会、6月15日(金)に国際交流パーティーを行いました。ソフトボール大会は、例年2日間で開催していましたが、1日開催の要望が多かったため、1日開催に変更しました。多くの方が参加し、天候にも恵まれ、楽しいものとなりました。国際交流パーティーは、院生だけでなく留学生の方も多く参加していただき、よい国際交流の場を作ることができたと思います。参加者の方も交流を楽しんでくださっているようでした。

後期は、10月7日(日)に鳴門リレーマラソン、12月にソフトバレーボール大会を行う予定です。院生会は、院生のみなさんがより充実した生活を送ることができるように、これからも努めていきます。そのために、今まで行ってきたことを引き継いでいくことに加え、みなさんの意見・要望を聞き取り入れて、行事等を開催したいと思っております。これらの行事を行うためには、みなさんの協力が不可欠になります。後期からも引き続きご協力をよろしくお願い致します。



# 健康手帳

## ましん 麻疹について

◆ 特別支援教育専攻・心身健康センター 伊藤 弘道



皆さん、こんにちは！今回は麻疹（ましん）についてお話ししたいと思います。ここ最近では今年（2018年）の春に沖縄で流行したことが皆さんの記憶に新しいと思います。台湾人男性の持ち込みが発端であり、その男性が訪ねた観光先などで感染が拡大し、マスコミでも連日取り上げられていました。麻疹は以前はもっと患者数が多く、ありふれた疾患でした。私が医師になってまもなくの2001年当時は全国で年間28.6万人の患者がおり、普通のかぜよりも重症で、年に20人程度が不幸にもお亡くなりになっていました。予防接種の徹底（2006年からは2回定期接種、近年は接種率が90%超です）に伴い患者数は激減し、2010年には年間発症が500人弱となり、2011年以降は国内土着のウイルス（国内特有の遺伝子型のウイルス）が検出されない状態となり、2015年3月27日に世界保健機関（WHO）から日本では「排除状態」にあると認定を受けています。但し、国内土着のウイルス以外の海外から持ち込まれたウイルス（国内特有でない遺伝子型のウイルス）による患者は尚存在し、直近の2017年度は国立感染症研究所のデータによると189名となっています。近年は訪日外国人客（インバウンド）が増加しており、麻疹に限らず海外から国内に持ち込まれてくる感染症への対策の徹底が望まれています。

麻疹は空気感染・飛沫感染・接触感染しますが、空気感染することにも関連して、その感染力は極めて強く、普通のマスクをつけていても防ぐことができません。免疫のない集団では、感染者1人

から12-14人にうつることになります（インフルエンザは1-2人程度です）。潜伏期間は10-12日で38℃程度の発熱やかぜの症状で発症し、2-4日後やや解熱するも、再度高熱（39℃以上）が出現し（二峰性発熱）全身に赤い発疹が出現します。患者はかなりしんどく、場合によっては死亡することもあります（1000人に1人）。尚、麻疹では発疹出現前の早期診断方法として、口腔内の頬粘膜にコプリック斑という小白斑ができることが特徴であり、指導医から麻疹患者に遭遇したときに、それをよくみせてもらっていたのが懐かしい思い出です。麻疹では肺炎、免疫力低下、脳炎、心筋炎、中耳炎、クループなどを合併することがあります。麻疹脳炎は麻疹患者1000人に1人の確率で発症し重篤ですし、麻疹患者数万人に1人の確率で、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という、麻疹ウイルスが変異して脳内に持続感染するような予後不良の慢性脳炎を合併することがあります。麻疹の治療法は対症療法（ウイルスを排除する根本的なものでなく、出現した症状を軽くするようなもの）であり、そもそも発症しないように予防接種でしっかりと予防することが重要です。現在は定期の麻疹風疹混合ワクチンは1歳児と小学校入学前の1年間の幼児（幼稚園年長相当）の2回接種するようになっていますが、もし麻疹にかかったことがなく予防接種も受けたことがない人は、予防接種についてかかりつけの医師に相談してみてください。

# 行事予定

● ● ● 平成30年度後期

行事等【平成30年10月～平成31年3月】	
共通	10月1日(月) 創立記念日・授業開始
	10月9日(火) 創立記念日振替日
	10月16日(火) 「後期履修登録」締切
	10月17日(水)～10月22日(月) 後期履修登録変更期間
	11月2日(金)～11月4日(日) 大学祭・学生表彰表彰状授与式
	12月18日(火)～12月25日(火) 冬期集中講義
	12月26日(水)～1月6日(日) 冬期休業
	1月下旬 サークル・リーダーシップ・セミナー
	3月1日(金)～3月31日(日) 学年末休業
	3月18日(月) 学位記授与式, 各賞授与式, 学生表彰表彰状授与式
学部	10月17日(水)～10月30日(火) 施設実習(2年)【鳴門こども学園等】 期間中10日間
	10月22日(月)～10月26日(金) 特別支援教育観察実習(4年)【附属特別支援学校】
	10月22日(月)～11月16日(金) 特別支援教育実習(4年)【附属特別支援学校, 県立特別支援学校】 期間中2週間
	10月23日(火)～10月24日(水) 3年次生合宿研修
	10月29日(月)～11月8日(木) 副免実習(4年)【附属中学校】
	10月29日(月)～11月9日(金) 副免実習(4年)【附属小学校】
	1月31日(木) 「卒業研究」提出締切
	2月14日(木)～2月20日(水) 後期試験期間
大学院	11月30日(金) 1年次生(修士)(長期履修2年次)「学位論文計画書」提出締切 2年次生(修士)(長期履修3年次)「学位論文計画書(変更届)」提出締切
	1月18日(金) 2年次生(修士)(長期履修3年次)「学位論文」提出締切 2年次生(専門職学位課程)「最終成果報告書」提出締切

※10月29日(月), 11月22日(木), 2月13日(水)は金曜日の授業を実施する。

## 入試関係行事

- 大学院(前期選抜) 10月13日(土)
- 学部推薦(I型) 11月18日(日)
- 大学院(中期選抜) 12月8日(土)
- 大学入試センター試験 1月19日(土)・20日(日)
- 学部推薦(II型) 1月29日(火)
- 学部(前期日程) 2月25日(月)・26日(火)
- 大学院(後期選抜) 3月2日(土)
- 学部(後期日程) 3月12日(火)

## 学生会主催行事

- クリスマス・イルミネーション 11月下旬～12月 図書館前
- 卒業記念パーティー 3月18日(月) 体育館

## 院学生会主催行事

- ソフトバレーボール大会 12月2日(日) 体育館
- 修了記念パーティー 3月18日(月) 体育館

## 就職支援行事予定

※詳細は、就職支援室で確認すること!! (平成30年10月～平成31年3月)

- 3年次合宿研修…………… 10月23日(火)～24日(水)
- 大学院生就職研修会…………… 10月27日(土)
- 企業ガイダンス…………… 11月7日(水), 11月21日(水)
- 教採対策ガイダンス(基礎編)…………… 11月7日(水)・14日(水)・28日(水), 12月5日(水)・12日(水)・1月16日(水)・23日(水), 30日(水), 2月6日(水)・13日(水)
- 公務員等ガイダンス I・II…………… 11月14日(水), 2月6日(水)
- 教採対策ガイダンス(論作文編)…………… 11月21日(水), 1月9日(水)
- 就職ガイダンス I・II・III・IV…………… 11月28日(水), 12月5日(水), 1月16日(水)・30日(水)
- 身だしなみ講座…………… 12月12日(水)
- 教採実技ガイダンス(集団)…………… 12月1日(土)
- 本学出身教職関係者との情報交換会…………… 2月16日(土)
- 教採実技ガイダンス(個人)…………… 2月9日(土)
- 教員採用模擬試験…………… 2月22日(金)
- 教採対策特別ガイダンス…………… 1月～7月上旬

## 編集後記

本学の教育・研究活動のトピックスとして、長期履修学生・長期在学生のサポート事業や地域連携センター事業について掲載しました。8名の新任教職員をお迎えし、その紹介文も掲載しました。

また、四国地区大学総合体育大会、鳴潮祭の準備、鳴教大生がいきいきと活動する姿、国際交流の様子、各附属校園の教育活動など、楽しみながらご一読いただければと思います。

